

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 合格体験記

受検番号: 03F3520419	T, O	東京都在住
------------------	------	-------

■受検のきっかけ:

セカンドキャリアとして中小企業診断士の資格をとり、人材マネジメント中心に活動しようと思い、その一環で受検しました。勉強会の仲間が技能士を目指すことにも触発されました。

■合格までの経過:

今回五回目の受検で合格しました。非常に険しい道のりでした。論述は最初から通ったのですが、面接に関してはなかなか要領が掴めませんでした。理由としては、問題把握の網羅性を求められる論述に対し、面接の方は対話の積み重ねなので、論点をおぼろげに、一つひとつ納得感を形成することが大事で、それができるようになるのに苦労したからだと思います。

■勉強方法:

[論述]

初回から毎回合格点に達していました。内容的には、自己理解、仕事理解、周囲とのコミュニケーション、中長期のキャリアプラン等の基本的な問題点に沿い、事例の固有性を加味しながら記述しました。

技能士会の論述の問題集【論述】「1級実技試験(論述・面接)合格バイブル」は何回も取り組み、考え方を身に付け、書き方の型を習得するのに大変有効でした。

とにかく自分で書いてみて、推敲を重ねることの繰り返しでした。

受検初期は、既合格者に内容や表現を添削して頂きました。ロープレの練習を重ねると、不思議と論述の回答内容も、相手の固有性に沿って具体的に記載できるようになった気がします。

[面接]

練習方法はオーソドックスで、試験前はロープレを週二、三回行い、既合格者や仲間内からのフィードバックに基づき、面談を改善していきました。試験自体は本当に難しく、2級とは大きな差を感じました。経年別に振り返ると、以下のような進展状況です。

一年目:一級合格者に師事し、ロープレを反復練習した結果、型にはまり、進め方や時間配分、指導の有無ばかりに気をとられ、試験では完全に相談者を置き去りにしてしまいました。各区分の点数には40点台もあり、全て合格点を下回り、完全に自信を喪失しました。

二年目～四年目:複数の既合格者の指導と自主練習を重ね、毎年少しずつスコアも上がり、ようやく問題把握までは基準点に届くようになりました。録音内容や逐語録を振り返り、問いかけ方や言葉の冗長性を改善しました。但し、面接の後半になると展開を急ぐあまり、事例相談者が悩みやエピソードを訴えているのにスルーしてしまい、具体的展開が到達点に及びませんでした。

五年目(今回): 面接に関する細かな要求事項は一旦忘れ、とにかく事例相談者のために関わろうと決め受検に望みました。練習回数も控え目にし、事例相談者の問題点を想定し、どのような指導をしたらよいか考えることに時間を取りました。試験では、一問一答に集中し、面談のゴールや後の展開の仕方などは考えないようにしました。面接試験に関しては、1級技能士の会の具体的展開に関する講座内容が参考になりました。

そのとき講師の言われた「指導は何か一つ簡単なことで良い」という言葉で、ロープレ時の気持ちがぐっと軽くなりました。

1級の試験で求められていることを、少しずつ理解しながら、問いかけ方、受け止め方を身に付けていった気がします。

事例相談者本位に立ち、一番自分らしい面談ができた時に、自然と結果が伴うように感じました。

以上